

関東ブロック推進員等合同研修会

日時：9月4日(水)～5日(木)

場所：みなかみ町カルチャーセンター

関東ブロック各地域の地球温暖化防止活動推進員及び地域地球温暖化防止活動推進センターの活動について情報共有とスキルアップを図ることを目的として、関東ブロック推進員等合同研修会が、今年は群馬県みなかみ町カルチャーセンターで開催されました。

関東ブロックの11のセンターから50名の推進員・職員が参加し、「地域循環共生圏」をテーマに講義とワークショップを行いました。



初日は、「地域循環共生圏を考える視点としてのカーボンフットプリント」の講演、推進員活動事例発表、カーボンフットプリントを取り入れたグループワークを行いました。

夕食会場では各県の推進員とセンター職員の経験・情報交流が行われました。

2日目は「ユネスコエコパークから考える地域循環共生圏」の講演、クロージング・ふりかえりが行われました。終了後に希望者でラフティングの体験を行い、利根上流の自然を味わう貴重な機会となりました。

報告

3R推進 全国功労者等表彰 内閣総理大臣賞受賞

藤岡工業高校では、10年以上前から紙のリユース・リサイクルなどの環境保全活動に取り組んでいて、平成28年度からは授業や課外での環境活動・環境学習を進めるための「藤工環境活動プロジェクト」をスタートしました。このプロジェクトは、廃棄物の削減やその利活用、自然環境の保全、家庭の省エネルギー、農林業獣害対策など、8項目ほどのテーマで構成されています。

このうち3Rに関係した、①紙の再利用と再資源化の推進、②廃食用油を有効活用した廃棄物の削減、③廃電線を有価物として活用した環境と社会福祉貢献活動、④廃棄物処理施設の見学とリサイクル実習、⑤「ぐんま環境学校」への入校などの活動や学習が、令和元年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰において、内閣総理大臣賞を受賞しました。

(藤岡工業高校教諭・富岡賢洋推進員)



目次	関東ブロック推進員等合同研修会報告	推進員活動報告	- 4 -
	3R推進全国功労者等表彰	県からのお知らせ	- 5 -
	活動報告	えこサボからのお知らせ	- 6 -

ぐんま環境フェスティバル

日時：10月5日（土）9:30～16:00
場所：ヤマダ電機 LABI1高崎イベント会場



出展者は30団体近くあり、沢山の人のにご来場いただきました。当センターのブースでは、4名の推進員の方にご協力いただき、通勤に関するアンケート調査を行いました。

群馬県は、家庭からのCO₂排出量のトップは「自動車」からで、これは他県と比べても多い結果となっています。そのため、スマートムーブについて関心を持っていただけるよう、お話を聞いていただきました。

伊勢崎環境フェスティバル

日時：10月6日（日）10:00～15:00
場所：いせさき市民のり公園



えこサポからは3名の推進員と片亀センター長が参加しました。

残念ながら天気が晴れたり曇ったりで、ソーラークッカーでの調理が出来ず、展示のみとなりましたが、スマートムーブアンケートとクールチョイス宣言は80人近く賛同いただきました。

グリーンエコフェスティバル

日時：10月27日（月）9:00～16:00
場所：前橋自動車教習所

エコカーの試乗やエコドライブ講習会、ステージイベント、お楽しみ抽選会などがあり、とても賑わいました。

えこサポでは3名の推進員さんとスタッフでお子さんがびゅんびゅんコマ制作に取り組む間に保護者の方にクールチョイス宣言をしていただきました。同じフロアにバルーンアートも作っていてたくさんの方が足を運んでくれました。



群馬県民の日記念イベント

日時：10月28日（日）10:00～16:40
場所：群馬県生涯学習センター



えこサポでは昨年に引き続き、群馬県民の日記念イベントにブース出展し、「びゅんびゅんコマ」と「ブーメラン」作りを行いました。

終始盛況で、準備した材料が足りなくなるほどの人気でした。小さな子から小中学生まで、出来上がったものを早速回してみたり、飛ばしてみたりと、とても喜んでいました。お子さんが熱心に取り組んでいる間、親御さんにはクールチョイス宣言にご協力いただきました。

スマートムーブ推進会議

第2回10月11日（金）
第3回11月22日（金）

7月の事業所アンケートを踏まえて実施した事業所ヒアリングの結果について協議検討し、12月のフォーラムの内容について協議しました。建設業や運送業など、業種によってはエコ通勤が難しい実態も浮き彫りとなりました。公共交通や自転車通勤の普及には体験の機会が重要であることで認識が一致しました。



西部地区では1回目の会議で、会議毎に推進員メンバーが講師になり、ミニ学習会を開くことを決定しました。

11月6日の第3回の会議では、環境を意識した設計の富岡市の新庁舎と世界遺産「富岡製糸場」の見学です。まず富岡新庁舎は木材を活かした、あの隈研吾さん設計です。外観の特徴は長い庇と富岡産材を使用したルーバーになります。この二つで太陽光の庁舎内への入り方をコントロールして熱負荷を削減しています。越屋根と吹き抜け構造で自然換気が行われています。



富岡市役所新庁舎

製糸場見学は推進員の視点として、電気が普及していない明治初期に、エネルギーと動力をどの様に確保していたのか、また環境対策をどうしていたのか。推進員の原田さんに講師として解説して頂きました。

繰糸器（そうしき）300台（当時世界最大）の駆動は、ブリュナエンジン1台で行っていたそうです。蒸気釜所でつくられた蒸気で繰糸器に付けられた釜が温められ、釜の中の繭が温まって、繭が緩みます。蒸気釜所の煙突の高さは約37.5mで先端が銀の避雷針もついていました。当時として非常に高い煙突で周辺への煙害を防止していました。また繭を直接温めたお湯は、煉瓦積排水溝により隣の鍮川に排水しました。当時の日本の漆喰では、もれてしまうためフランスからセメントを輸入し漏れを防止して、土壤汚染を防止したとのこと。原田さんには上記以外にも、細部まで解説して頂きました。

今回は最新の建築物と古い技術を訊ねる、まさに「温故知新」のツアーでした。今後もミニ学習会を継続する計画です。

（高崎市 加藤光明推進員）



中部地区地域協議会先進地等視察研修

去る11月25日、群馬県地球温暖化対策中部地域協議会先進地等視察研修を、13名の参加で実施しました。

一カ所目の「太田市エコハウス」では、太田市の環境への先進的な取組を教えてくださいました。

二カ所目の埼玉県本庄市の「(株)エコスファクトリー」では、分別ゴミとして回収されたプラスチックゴミから、再生プラスチック（ペレット）を製造する工程を視察しました。工場の内部にまで立ち入らせていただき、リサイクルの現場に触れ、「正しい分別」が効率的なリサイクルに繋がるということを改めて実感しました。

御協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

（中部環境事務所 吉野幸枝）



エコハウス



エコファクトリー見学

第2回連携会議



11月26日に群馬県公社ビルにて第2回連携会議が開かれました。各地区の方から環境イベントや環境施設等の視察などたくさんの活動報告がありました。また、今後の予定など情報共有をしました。

今後の活動課題としての議題では、環境問題は体験しないと理解が難しい、大人も子どもも環境問題に気付ける事が大事。体験の場を増やす事が必要。行政、推進員、各地区の協議会などが連携して行事などが行えるようになると良いと意見が出されました。

第47回草津町文化祭 第27回生涯学習推進大会



日時：11月2日～3日（土・日）

場所：草津町立総合体育館

令和元年は『「移動」を「エコ」に COOL CHOICE』と題してパネルを5枚展示し、配布用チラシを7種類置きました。

絵画や書道が展示されている一角で展示を行い、子供達に興味を持ってもらえるように、ソーラーカーと風車発電を展示し、関係する本も展示しました。
（草津町 反町忠雄推進員）

太田市産業環境フェスティバル

日時：11月10日（日）9：00～14：30

場所：太田市新田文化会館

太田市産業環境フェスティバルは11月10日に太田市新田文化会館で開催され15,000人の来場がありました。2006年に1市3町が合併してから毎年開催されていますが、群馬県地球温暖化防止活動推進センターは2014年に出展団体の1部を借用して試行的に参加し、2015年は東部地区推進員と共同で、2016年からは東部環境事務所とセンター、東部地区推進員の共同で出展しています。



今年は①「ぐんまエコスタイル」として「COOL CHOICE」チラシ配布と宣言募集

②東部地区推進員の活動報告をパネルで展示

③スマートムーブや地球温暖化に関するパネルを展示と家庭でできるエコに関する資料を配布しました。

推進員が所属する団体も多く参加し、環境クイズ、お絵かきマイバック創り、3R宣言の受付等行い多くの方に参加して頂きました。今年から太田市立太田高校の生徒さんが参加し、夏休みの課題でCOOL CHOICE運動の啓発活動を行い、結果の報告と会場で宣言を受け付けていました。

また笹川衆議院議員や多くの県議会議員、市議会議員の方も見学され推進員の活動がPR出来ました。このような機会を通して推進員の協力や交流が図られれば良いと思っています。
（太田市 西村豊推進員）



第10回おおた まちの先生見本市

日時：11月24日（日）10:00～15:00

場所：太田市鳥之郷小学校

今回で10回目となる見本市は、学校では教わることのできない“環境・ものづくり・ライフスタイル”について、それらに知見のある行政・企業・NPO・ボランティアサークルなどが“まちの先生”として出展し、普段の活動を見せながら体験してもらうというイベントで、今回も74団体が出展し4300名もの参加者で一日中賑わいました。



開会式の中で、夏休みを中心に12週間毎日書いてくれた“みどりの小道・環境日記”優秀作品の表彰式も行われ、市長をはじめご来賓から表彰状が受賞者に手渡されました。

「まちの先生見本市」は地域の人材発掘という目的も合わせ持っています。どこの市町村にも素晴らしい技術や伝統技能などを持った方がいらっしやいます。言わば地域の無形文化財的なこういった方々にもスポットライトを当て、地域で活動してもらえればと思っています。できれば「まちの先生見本市」という試みが県内の市町村で、それぞれの地域の特色を生かして開催されれば、環境や温暖化対策、地域でのコミュニケーション向上につながることにいるのではないかと思います。
（太田市 須永徹推進員）



ウォームビズ(WARMBIZ)について

県からのお知らせ

環境省では、平成17年度から冬の地球温暖化対策のひとつとして、暖房時の室温を20度で快適に過ごすライフスタイルを推奨するウォームビズ(WARMBIZ)を呼びかけています。

ウォームビズは、暖房に必要なエネルギー使用量を削減することによって、CO2の発生を削減し、地球温暖化を防止することが目的です。一般的に、電力による冷暖房を行う場合、室温設定の調節による省エネ効果は、夏よりも冬のほうが大きいことが知られています。冬の暖房器具使用時に室温設定を今までよりも下げるようにすれば、CO2削減効果があるばかりではなく、電気代を削減することにつながります。ウォームビズは、家庭やオフィスにとって経済的メリットもあります。

ウォームビズのポイント

「衣」「食」「住」のひと工夫であたたかく過ごしましょう！

「衣」・首、手首、足首の「三つの首」をあたためましょう。

・機能性素材の腹巻きや下着、セーターやジャケットを着用しましょう。

「食」・なべ料理でからだも室内もあたためましょう。

・冬が旬の食材や根菜類、しょうがなどのからだをあたためる食材を食べましょう。

「住」・断熱シートや複層ガラス、二重サッシや厚手のカーテンなどで、窓から熱を逃がさない工夫をしましょう。

・扇風機等を使用し、あたたかい空気を循環させましょう。

参考：環境省ホームページ



県有施設冬の省エネ節電対策について

群馬県では、県有施設の冬の省エネ節電対策として以下のような取り組みを行っています。

- ・執務エリアの照明は常時1／3程度を目安に間引きする。
- ・昼休みの消灯を徹底する。
- ・夜間の一斉消灯(19時、20時、21時)後は、必要箇所のみ再点灯する。
- ・暖房は、室温19℃を目安に温度管理を柔軟に行う。
- ・執務室等では、暖房に頼り過ぎず、寒い時はあたたかく働きやすい適切な服装を基本とする。(ウォームビズ)
- ・エレベーター運転台数を必要台数のみ稼働とする。等



環境にやさしい買い物スタイル普及啓発活動について

群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進協議会では、レジ袋削減に向けたスーパーでの店頭啓発活動を行っています。9月頃に推進員の皆様にも、啓発活動への協力について、通知を送付させていただきました。10月・12月に実施した啓発活動では、多くの推進員の皆様にご協力いただき、感謝申し上げます。2月にも啓発活動を行う予定ですので、ご参加いただける方がいましたら、是非ご協力をお願いいたします。ご参加いただける方、詳しい内容等を知りたい方は県環境政策課までご連絡ください。実施日程は以下のとおりです。

実施店舗	アビタ 前橋店 (前橋市文 京町2-1-1 けやき ウォーク前 橋内)	イオンスタ イル高崎駅前 (高崎市八 島町46-1 高崎オーパ 内)	ヤオコー桐 生相生店 (桐生市相 生町1-124- 1)	ベシア伊 勢崎バイバ イス店 (伊勢崎市 連取町 2336-7)	JAファー マーズプレ イス (太田市新 田市野井町 438-1)	フレッセイ 沼田店 (沼田市恩 田町321-2)	とりせん富 士見町店 (館林市富 士見町12- 60)	ベシア洪 川こもち店 (洪川市吹 屋657-30)	ベルク 藤岡店 (藤岡市藤 岡807-26)	ヤオコー 富岡店 (富岡市ノ 宮1682)	JAファー マーズ 安中店 (安中市原 市634)	フレッセイ 笠懸店 (みどり市笠 懸町阿佐美 1285-1)	フレッセイ 吉岡店 (吉岡町大 久保891-1)	カスミ 大泉店 (大泉町朝 日3-18-1)
2月	27日(木) 11:00~ 12:00	14日(金) 10:00~ 11:00	6日(木) 11:00~ 12:00	6日(木) 10:30~ 11:30	13日(木) 10:30~ 11:30	21日(金) 10:00~ 11:00	20日(木) 10:30~ 11:30	28日(金) 10:00~ 11:00	5日(水) 10:30~ 11:30	5日(水) 10:30~ 11:30	6日(木) 10:00~ 11:00	5日(水) 11:00~ 12:00	18日(火) 10:30~ 11:30	18日(火) 10:30~ 11:30

出前講座報告

『地球温暖化への適応策（気候変動に備える）』

11月17日（日）

前橋市樋越公民館

講師：中島啓治推進員

第1部「気候変動の緩和 気候変動影響と適応策」化石燃料から再生可能エネルギーへの転換を！日本のCO2直接排出量等を学び、最優先すべきは持続可能性であることを資料を基に確認しました。

第2部「ぐんまの自然と災害」防災と減災教育等の内容を学び、地域のコミュニティが大事であることを再確認しました。

参加者からは、ここで学んだことを、多くの方に伝えて行きたいとの感想がありました。年2回の講座で、22回目の活動を積み重ねている活動が活発な地域ですので、自治会長さん、生涯学習奨励員さんを中心に今回の講座の内容が生かされると感じました。



えこサボから
のお知らせ

イベント情報

各イベントの詳細はホームページをご覧ください。

イベント名【会場】	日時	内容等
西部地区第4回定例会議 【藤岡市役所防災センター2階大会議室】	1月22日（水） 13：30～15：30	西部地区推進員による情報・意見交換・ミニ学習会
第3回連携会議 【群馬県公社ビル】	2月12日（水） 10：00～12：00	各地区活動報告 会議運営に関する意見交換等
第4回スマートムーブ推進会議 【群馬県公社ビル】	2月21日（金） 10：00～12：00	フォーラム及び事業所ヒアリングのまとめと次年度の課題抽出

イベントの告知やボランティア募集など掲載したい内容がありましたら、えこサボまで。

★年末年始のおしらせ★

12月28日から1月5日までセンターはお休みになります。よろしくお願いいたします。

センター移転のお知らせ

センターが5階から6階へ移転しました。スペースは倍になり談話スペースも確保できました。

えこサボカフェは、毎月第4金曜日午前10時に開いています。（12月はお休み）お気軽にお立ち寄り下さい。



編集後記

いよいよ今年も終わりに近づいてきました。秋は、沢山のイベントがありましたが、推進員の皆様、ご多用の中ご協力ありがとうございました。また、今年度実施した出前講座の件数は、12月9日現在13件で、残り27件可能です。

地域活動や仲間同士の集まり等で出前講座を実施してみませんか？

お申込みをお待ちしています。



編集・発行

群馬県地球温暖化防止活動推進センター（えこサボ）

〒371-0854

前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル6階

TEL：027-289-5944 FAX：027-289-5945

MAIL：suishin@gocca.jp

群馬県環境政策課

〒371-8570

前橋市大手町1-1-1

TEL：027-226-2817 FAX：027-223-0154

MAIL：kanseisaku@pref.gunma.lg.jp